

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

令和2年8月27日(木) 午後2時

閉 会 年 月 日

令和2年8月27日(木) 午後2時27分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教 育 長 飯 野 眞 幸

教育長職務
代 理 者 竹 内 一 普

委 員 清 水 久 美

委 員 塚 田 展 子

委 員 重 田 誠

事 務 局 (説明員)

教育部長 小 見 幸 雄

学校教育担当部長 佐 藤 明 彦

教育総務課長 真 藤 要一郎

社会教育課長 土 谷 真由美

文化財保護課長 角 田 真 也

中央公民館長 藍 美 香

中央図書館次長 齊 藤 寛 方

教職員課長 大 澤 克 教

学校教育課長 橋 爪 幸 雄

健康教育課長 山 崎 幹 夫

教育センター所長 永 井 智 幸

高崎経済大学附属高等学校事務長 神 宮 義 子

書記 教育総務課 宮 澤 信 宏

8月27日	会議に附した事件
議案第21号	令和2年度高崎市一般会計補正予算（9月議会提出分）教育費見積書の提出について

高崎市教育委員会 8月定例会会議録

教育長（飯野眞幸）

それでは、これより高崎市教育委員会 8月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第1 会期の決定といたしまして、会期は、本日1日といたします。

日程第2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、竹内教育長職務代理者と清水委員を指名させていただきます。よろしくお願ひいたします。

日程第3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（飯野眞幸）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第21号「令和2年度高崎市一般会計補正予算（9月議会提出分）教育費見積書の提出について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（真藤 教育総務課長 から秘密会の申し入れ）

教育長（飯野眞幸）

ただいま事務局から秘密会での審議の申し入れがありましたが、議案第21号の審議を秘密会とすることでご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ご異議がないということで、秘密会といたします。

（秘密会）

教育長（飯野眞幸）

それでは、秘密会による審議を終了いたします。

教育長（飯野眞幸）

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局からその他、報告等ありますか。

（「特になし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

事務局からはないようですが、この際、委員の皆様から、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

委員（塚田展子）

24日から2学期が始まり、先生方は現場で色々大変な思いをされていると思います。スタートにあたり、子どもたちの様子はいかがでしょうか。例えば、欠席の状況や、不登校の子が継続して不登校であるとか、新たに不登校の子が見られるとか、何かありましたら教えていただきたいと思います。

教育長（飯野眞幸）

2学期がスタートした子どもたちの様子について、学校教育課長いかがでしょうか。

学校教育課長（橋爪幸雄）

コロナウイルスの関係で不安になっている子どもは、6月のスタートに比べると少なくなっています。ただ、夏休みが終わり、2学期がスタートすることにあたり、不安を持っている子どもはいるようです。また、不登校につきましては、これから月例報告等で数字が上がってきますが、全体的には、学校生活は順調に進んでいますので、推移を見守って行きたいと思います。

委員（塚田展子）

ありがとうございます。

教育長（飯野眞幸）

昨日、小学校を3校訪問しましたが、不登校気味だった子が今は学校に来られているという話を聞きました。コロナウイルスの休校中もそうでしたが、不登校という精神的な負担を感じた子どもたちにとってみると、少し気持ちに変化した部分があるのかもしれないですね。これは全国的な傾向のようです。ただ、始まって強いプレッシャーを与えてしまうと、また来られなくなってしまうかもしれませんが、そういった部分で何かアドバイスはありますか。

委員（塚田展子）

最近、登下校時に意識して子どもたちの様子を見ているのですが、以前よりも元気がいいような気がします。以前は重い荷物を背負って苦しそうな雰囲気でしたが、今は顔が上がっていて、半年前とは大分違う印象を受けました。本当にごく一部を見て感じているのですが、いい雰囲気に登下校している姿が見受けられます。やはり、あまりプレッシャーが無い方が良いのかもしれないですね。

教育長（飯野眞幸）

そうですね。その辺は今日も校園長会議を開きましたので、十分見てもらえるのかと思います。

その他にいかがでしょうか。

委員（重田誠）

今後の運動会や校外活動は、学校によって違うと思いますが、秋の行事についてはどのような予定になっているのでしょうか。

学校教育課長（橋爪幸雄）

運動会については時間を短縮して、大多数の学校が平日に学習発表会という形で実施していく方向です。また、2学期に本来行われる予定の行事は、学校が感染防止対策を講じながら、可能な限り出来るものを検討している状況です。

委員（重田誠）

運動会なども感染対策をして、学校独自でやってもらうようなスタイルでしょうか。

学校教育課長（橋爪幸雄）

はい、その通りでございます。

教育長（飯野眞幸）

運動会などの感染対策は、健康教育課長、特に何か指示をしていますか。

健康教育課長（山崎幹夫）

運動会に関しては、学年ごとの発表になり、応援の保護者の方々も来ますので、密にならないようにという事と、子どもたちの事前の健康管理を徹底して、良い学習発表会になるように話をさせていただいています。

教育長（飯野眞幸）

例年どおりですと、9月下旬に開催する学校が多いので、熱中症対策も併せて必要なのかと思います。他にいかがでしょうか。

委員（清水久美）

今のお話を伺っていて、各学校で対応策を練られていると思いますが、先日の新聞記事に出ていましたが、34パーセントの教員が、コロナ禍の疲労やストレスで子どもたちの話を聞けないというような記事がグラフと一緒に出ていました。現在、高崎市の教職員の方々はどのような状況でしょうか。

学校教育担当部長（佐藤明彦）

新型コロナウイルス感染症の予防対策や、現在では熱中症対策などで、先生方は非常に大変だと思います。特にコロナ対策に関しては、今までなかったような対応をしなければならないという事で、子どもたちのために先生方は苦勞しながら対応していただいていると聞いていますが、校長先生を中心に、工夫した取組をしていますので、現場の先生方から「大変だ」という声は、それほど聞こえてきておりません。校長先生を通して、あるいは現場の先生方に直接お話を伺うと、当初は「大変だ」という声もありましたが、ローテーションを組んだり、役割分担をしたりと随分対応に慣れてきている部分もあるようです。また、教員の増員は難しいですが、全ての学校に学習指導員等の配置を進めているところです。学習指導員は学習への対応も出来ますし、感染予防の消毒作業なども出来ますので、大規模校には2名から3名、小規模校には1名と、県と協力しながら進めているところですので、今後も先生方に負担がかからないように対応していきたいと思います。

委員（清水久美）

それは良かったです。ありがとうございます。

教育長（飯野眞幸）

他にいかがでしょうか。

教育長職務代理者（竹内一普）

管轄が違うかもしれませんが、色々な行事が延期や中止になっている中で、今年度の成人式はどのような形を取るのか教えていただきたいと思います。例えば、今までどおり音楽センターで行うのか、あるいは小学校区の体育館などで行うのか、どのように計画しているのでしょうか。また、教育委員会でも連携して何かやらないといけないのかという感じを受けるのですが、何か情報はありますでしょうか。

教育長（飯野眞幸）

成人式に関しましては、市民部が所管になっています。教育部長、何か情報は掴んでいますか。

教育部長（小見幸雄）

申し訳ございませんが、所管が違うのもありまして、現在のところそういった情報は掴めておりません。

教育長（飯野眞幸）

後程、市民部に確認をして、ご報告させていただきます。

教育長職務代理者（竹内一普）

ありがとうございます。もう1つよろしいでしょうか。上野三碑の件についてですが、観光協会の観光の視点で動きを活発化させるという主な事業の中に、上野三碑が具体的に入っていませんでした。巡回の観光コースのワゴン車というのは存じていますが、もう一步観光的な視点で取り組むというような施策と言いますか、観光課とコラボするような計画は、今後あり得るのかお聞かせいただきたいと思います。

文化財保護課長（角田真也）

上野三碑につきましては、上野三碑普及推進協議会を設けていまして、その中で観光課のご意見を聞く機会があります。また、石碑の路（いしづみのみち）という遊歩道は、観光課の所管になっていまして、観光課長と現場でお話をしながら整備等を一緒に取り組んでいます。また、上野三碑普及推進協議会では、上野三碑かるたを作成していますが、コロナウイルスの影響でイベントがなかなか出来ませんので、こちらを使って普及に努めています。各学校からも多くの希望をいただいています、かなりの数のかるたを配布しています。先日は、吉井小学校で先生方と子どもたちが授業でかるたを活用してくださっていると新聞報道もありました。今は我慢しながら普及に努めている状況です。観光課とも十分協議して、今後とも協力していきたいと考えています。

教育長職務代理者（竹内一普）

ありがとうございます。また色々ありましたら、教えていただければと思います。

教育長（飯野眞幸）

観光協会という視点から、教育委員会に要望がありましたら、どんどん伝えていただけると有難いです。現在、コロナウイルスの関係で、内に籠るような行事が多いので、外に向かって出来る行事があれば、是非ご協力させていただきたいと思います。

その他にいかがでしょうか。

委員（重田誠）

最初の頃は、コロナウイルスのPCR検査はすごくハードルが高く、なかなか出来ませんでした。以前は発熱が続いて症状が無いと検査ができず、しかも保健所を介して接触外来に行かないと受けられませんでした。しかし、現在は体制が変わってきて、高崎市内ですと5つの病院が検査を出来るようになりました。また、開業医でも検査が出来るようになり、高崎市医師会だけでも100以上の医療機関で検査が出来るようになっていきます。現在、自費の検査と保険適用の検査があり、保険適用の検査はある程度症状が無いといけませんが、前に比べたら検査しやすくなっています。東京都などは、PCR検査だけ行うセンターがありまして、それを今検討中です。早く感染者を見つける事が出来ますし、検査数も増えていきますので、そういった面では少し体制が変わってきて良かったと思います。先日テレビで、病床が25パーセントを超えている県に、群馬県が入っていたようですが、実際、群馬県は病床が302床あります。その中で、入院患者数は93名で30パーセントですので、それほど逼迫はしていません。また、ホテルは150室確保されていて、ホテル療養が22名、重症な方には人工呼吸器を使用しますが、県内には23台ありまして、現在の使用台数は0台です。そして、ECMO（エクモ）という血液を浄化する機械は県内に9台ありますが、それも使用台数は0台ですので、今のところ県内では重症で人工呼吸器やECMOを使用している人はいません。病床利用率は確かに上がってきていますが、第一波の時に比べると、重症者は比較的少ないです。ただ、市内感染者の累計者数は68名で、濃厚接触者として経過観察中の方が120名いますので、今後も出て来る可能性はありますし、子ども同士でうつるよりは、母親からうつるなど、家庭内感染がとても多いです。やはり数が増えれば、感染する可能性もあるので、その辺の注意が必要ですし、市中感染が増えれば知らないうちに先生も感染する可能性があるので気をつけていただきたいと思います。ただ、以前に比べるとハードルが少し低くなったので、ずっと我慢せず、早めに主治医などに相談していけば、早めに検査が出来る形になって来ています。

教育長（飯野眞幸）

貴重な情報をありがとうございました。その他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。ないようですので、以上をもちまして、教育委員会8月定例会を閉会させていただきます。

本日は大変ご苦労様でした。